

自己評価結果表【タイプB】（児童心理治療施設）

内原 深 敬 寮

共通評価基準（45項目） I 治療・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	a(25%) b(75%) c(0%)

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	a(11%) b(75%) c(14%)
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b	a(7%) b(82%) c(11%)

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	a(18%) b(82%) c(0%)
② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	a(18%) b(82%) c(0%)
(2) 事業計画が適切に策定されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	a(18%) b(61%) c(21%)
② 7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b	a(11%) b(68%) c(21%)

4 治療・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 8 治療・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	a(29%) b(64%) c(7%)
② 9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	a(14%) b(68%) c(18%)

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	a(22%) b(71%) c(7%)
② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	a(29%) b(64%) c(7%)
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 12 治療・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b	a(14%) b(85%) c(11%)
② 13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	a(14%) b(64%) c(22%)

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	a(4%) b(57%) c(39%)
② 15 総合的な人事管理が行われている。	b	a(7%) b(68%) c(25%)
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	a(11%) b(46%) c(43%)
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	a(4%) b(78%) c(18%)
② 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	a(18%) b(75%) c(7%)
③ 19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	a(21%) b(61%) c(18%)
(4) 実習生等の治療・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 20 実習生等の治療・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	a(7%) b(64%) c(29%)

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	a(43%) b(53%) c(4%)
② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	a(25%) b(64%) c(11%)

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	c	a(0%) b(43%) c(57%)
② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	a(14%) b(46%) c(40%)
(2) 関係機関との連携が確保されている。	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	a(4%) b(89%) c(7%)
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 26 施設が有する機能を地域に還元している。	b	a(4%) b(85%) c(11%)
② 27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	a(4%) b(71%) c(25%)

III 適切な治療・支援の実施

1 子ども本位の治療・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 28 子どもを尊重した治療・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	a(39%) b(61%) c(0%)
② 29 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した治療・支援の実施が行われている。	b	a(28%) b(68%) c(4%)
(2) 治療・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 30 子どもや保護者等に対して治療・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	b	a(21%) b(75%) c(4%)
② 31 治療・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	b	a(7%) b(82%) c(11%)
③ 32 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり治療・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b	a(32%) b(68%) c(0%)
(3) 子どもの満足の向上に努めている。	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	a(11%) b(85%) c(4%)
(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	a(22%) b(71%) c(7%)
② 35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	b	a(18%) b(82%) c(0%)
③ 36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	a(7%) b(82%) c(11%)
(5) 安心・安全な治療・支援の実施のための組織的な取組が行われている。	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 37 安心・安全な治療・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	a(14%) b(79%) c(7%)
② 38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	a(18%) b(78%) c(4%)
③ 39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	a(25%) b(71%) c(4%)

2 治療・支援の質の確保

(1) 治療・支援の標準的な実施方法が確立している。	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 40 治療・支援について標準的な実施方法が文書化され治療・支援が実施されている。	b	a(7%) b(86%) c(7%)
② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	a(4%) b(89%) c(7%)
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b	a(11%) b(85%) c(4%)
② 43 定期的な自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b	a(11%) b(78%) c(11%)
(3) 治療・支援の実施の記録が適切に行われている。	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 44 子どもに関する治療・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	a(11%) b(78%) c(11%)
② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	a(14%) b(75%) c(11%)

内容評価基準（42項目）A-1 子ども本位の治療・支援

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A1 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の治療・支援において実践している。	b	a(14%) b(79%) c(7%)
② A2 子どもが自らの課題を可能な限り認識し、施設が行う治療・支援について納得し主体的に選択できるように、事前に分かりやすく説明し支援している。	b	a(7%) b(93%) c(0%)
③ A3 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	b	a(21%) b(75%) c(4%)
④ A4 子どもの行動などの制限については、子どもの安全の確保等のために、他に取るべき方法がない場合であって子どもの最善の利益になる場合にのみ、適切に実施している。	b	a(11%) b(89%) c(0%)

(2) 権利についての説明	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A5 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	b	a(11%) b(85%) c(4%)
(3) 他者の尊重	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A6 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	b	a(7%) b(82%) c(11%)
(4) 被措置児童等虐待対応	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A7 いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a	a(100%) c(0%)
② A8 子どもに対する不適切なかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b	a(39%) b(61%) c(0%)
③ A9 被措置児童等虐待の届出・通知に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	b	a(32%) b(68%) c(0%)
(5) 思想や信教の自由の保障	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A10 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。	b	a(39%) b(57%) c(4%)
(6) こどもの意向や主体性への配慮	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A11 子ども自身が生活全般について自主的に考える活動を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	b	a(14%) b(79%) c(7%)
(7) 主体性、自律性を尊重した日常生活	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A12 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している。	b	a(17%) b(79%) c(4%)
② A13 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など様々な生活技術が身に付くよう支援している。	b	a(25%) b(68%) c(7%)
(8) 継続性とアフターケア	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A14 子どもの状況に応じて退所後の社会生活を見通した見立てを行い、支援している。	b	a(32%) b(68%) c(0%)
② A15 家庭引取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるように支援を行っている。	b	a(36%) b(64%) c(0%)
③ A16 子どもが安定した生活を送ることができるよう退所後の支援を行っている。	b	a(39%) b(61%) c(0%)

A-2 治療・支援

(1) 治療	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A17 心理治療は、自立支援計画に基づき子どもの課題の解決に向けた心理治療の方針を策定している。	b	a(25%) b(71%) c(4%)
② A18 子どもに対して適切な心理治療を行っている。	b	a(39%) b(61%) c(0%)
③ A19 カンファレンスを必要に応じて実施している。	b	a(18%) b(82%) c(0%)
④ A20 医師による精神科的な治療が必要な子どもに対する適切な治療を実施している。	b	a(25%) b(71%) c(4%)
(2) 生活の中での支援	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A21 子どもと職員との間に信頼関係を構築し、常に子どもの発達段階や課題を考慮した支援を行っている。	b	a(4%) b(96%) c(0%)
② A22 子どもの協調性を養い、社会的ルールを尊重する気持ちを育てている。	b	a(19%) b(78%) c(4%)
③ A23 多くの生活体験を積む中で、子どもの健全な自己の成長や問題解決能力を形成できるように支援している。	b	a(11%) b(82%) c(7%)
(3) 食生活	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A24 食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも十分な配慮を行っている。	b	a(14%) b(72%) c(14%)
② A25 子どもの生活時間にあわせた食事時間の設定を旨め、子どもの発達段階に応じて食習慣を習得するための支援を適切に行っている。	b	a(25%) b(64%) c(11%)
(4) 衣生活	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A26 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	b	a(19%) b(56%) c(25%)
② A27 子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	b	a(14%) b(57%) c(29%)
(5) 住生活	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A28 居室等施設全体を、生活の場として安全性や快適さに配慮したものにしている。	b	a(11%) b(82%) c(7%)
② A29 発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう支援している。	b	a(4%) b(71%) c(25%)
(6) 健康と安全	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A30 発達段階に応じて、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理ができるよう支援している。	b	a(11%) b(82%) c(7%)
② A31 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	b	a(21%) b(79%) c(0%)
(7) 性に関する教育	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A32 子どもの年齢・発達段階に応じて、性に関する治療・教育の機会を設けている。	b	a(14%) b(57%) c(29%)

(8) 行動上の問題及び問題状況への対応	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A33 子どもに暴力・不適応行動などの行動上の問題があった場合には、適切に対応している。	b	a(36%) b(57%) c(7%)
② A34 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体に徹底している。	b	a(28%) b(68%) c(4%)
③ A35 保護者等からの強引な引取りなどの無理な要求や暴力的な行動の可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	b	a(21%) b(75%) c(4%)
(9) 学習支援、進路支援等	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A36 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	b	a(14%) b(64%) c(22%)
② A37 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	b	a(11%) b(82%) c(7%)
③ A38 施設と学校との親密な連携のもとに子どもに対して学校教育を保障している。	b	a(11%) b(82%) c(7%)
(10) 通所による支援	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A39 施設の治療的機能である生活支援や心理的ケアなどにより、通所による支援を行っている。	a	a(71%) b(29%)
(11) 施設と家族との信頼関係づくり	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A40 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	b	a(32%) b(68%) c(0%)
(12) 親子関係の再構築支援	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A41 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	b	a(25%) b(75%) c(0%)
(13) スーパービジョン体制	自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① A42 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	b	a(7%) b(69%) c(24%)